



全生徒約 260 人が参加した富岡第一中学校特設バドミントン部を送る会。猪苗代中学校の生徒と富岡第一中学校特設バドミントン部の部員は、感謝や激励の言葉が書き込まれた「絆」の応援旗を囲み、互いの活躍を誓い合った

## 絆の応援旗を贈る 猪苗代中で送る会

猪苗代中学校の生徒は 3 月 11 日、4 月からふたば未来学園中学校に移る富岡第一中学校の生徒を送る会を開きました。活動拠点を広野町に移す特設バドミントン部の生徒を激励しようと、猪苗代中の生徒会が企画しました。萩原亨一生徒会長は「学校で一緒に過ごした日々を心に刻み、前進していきましょう」と話し、互いの活躍を誓いました。猪苗代中学校の生徒は、感謝や激励の言葉を書き込んだ応援旗を特設バドミントン部に贈りました。応援旗には、大きく「絆」と記され、共に中学校生活を過ごした仲間にエールを送りました。



1 別れを惜しみながら記念写真に納まる両校の生徒ら 2 猪苗代高の校庭前には、富岡高とふたば未来学園高の校歌や校章などが刻まれた銘板が設置された 3 感謝の言葉を述べる後藤主将

## 8 年間の支えに感謝

### ふたば未来学園高バド部猪苗代校舎閉校式

ふたば未来学園高校猪苗代校舎の閉校式と「感謝を伝える会」は 3 月 15 日、同校で行われました。「感謝を伝える会」では、バドミントン部女子主将の染谷菜々美さんが「猪苗代でたくさんの人に支えられてきました。広野町から良い結果を届けたいです」と新天地での活躍を誓いました。ふたば未来学園高校はチームの集合写真のパネルと時計を贈り、猪苗代高校は町の木であるナナカマドの苗木を贈りました。

引き続き開かれた閉校式では、ふたば未来学園高校の 15 人が出席。ふたば未来学園高校の丹野純一校長と猪苗代高校の佐藤京治校長がそれぞれ激励の言葉を述べました。生徒を代表してバドミントン部男子主将の後藤サンさんが「土津神社の桜を見れなくなると思うと、悲しい気持ちでいっぱいです。東日本大震災が起き、縁もゆかりもない私たちに教室や体育館を貸していただき、感謝しています。猪苗代町、富岡町、広野町への感謝の気持ちを忘れずに、これからも一生懸命取り組むことを誓います。8 年間、ありがとうございました」と涙を浮かべながら感謝の言葉を述べました。



報告会で校歌を斉唱する選手

## Pick Up

### 今月の話題

## 富岡一中・ふたば未来高 両バドミントン部が 活動報告会を開催

富岡第一中学校（猪苗代中学校）とふたば未来学園高校の両バドミントン部の活動報告会は 3 月 2 日、ホテルリステル猪苗代で開かれました。

両部は、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の影響により、平成 23 年に富岡町から本町に練習の拠点を移して活動してきました。4 月からは広野町に練習拠点を移し、ふたば未来学園中学校と同高校のバドミントン部として活動します。

報告会には、両部の選手や保護者など約 200 人が出席。選手が次々に登壇し、「猪苗代町での生活が忘れられません」「毎日おいしいご飯を作っていたら、元気をもらいました」と感謝の言葉を述べ、これまでの寮生活などを支えてくれた人たちに花束を手渡しました。

平成 30 年度は、富岡第一中学校（猪苗代中学校）は、全国中学校体育大会で、史上初となる男女全 6 種目の完全制覇を達成。また、ふたば未来学園高校は、インターハイで女子が学校対抗で 3 連覇を成し遂げたほか、3 年の水井ひらり選手が女子シングルスで優勝するなど、輝かしい成績を残しました。

今月から活動拠点は移りますが、今後も両部や出身選手のさらなる活躍に期待が高まります。

## まちの応援マガジン いなわしろ 広報猪苗代

Apr.2019  
4  
No.702

### 今月の表紙



【撮影日】 3 月 18 日  
【撮影場所】 ひまわりこども園

ひまわりこども園の卒園式で修了証書を授与された黒岩遼都くん。ありがとうございます気持ちを込めて、お父さんに修了証書を手渡しました。（関連 4～5 ページ）

## Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 猪苗代中・富岡一中送別会／ふらばみらい学園高猪苗代校舎閉校式
- 04 写真特集 卒業・卒園
- 06 平成 31 年度予算
- 08 プロボクサー阿部麗也選手・日本タイトル戦へ
- 10 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは／地域おこし協力隊通信 ほか
- 14 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー